

2 速読

「伊勢物語」

名前

年

組

番

字数

254 字

目安時間

5 分

正答数

2

検印

◆ 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

むかし、男ありけり。人のむすめのかしづく、いかでこの男にもの言はむと思

良家の娘で

求婚しよう

1

ひけり。うちいでむことかたくやありけむ、もの病みになりて、死ぬべき時に、「か

くこそ思ひしか」と言ひけるを、親、聞きつけて、泣く泣く告げたりければ、ま

慌て

どひ来たりけれど、死にければ、つれづれとこもりをりけり。時は六月のつごもり、
ふためいて駆けつけたが、

みなづき

いと暑きころほひに、宵は遊びをりて、夜ふけて、やや涼しき風吹きけり。蛩た

ほたる

5

かく飛びあがる。この男、見ふせりて、

横になったまま眺めて、

ゆく蛩雲の上までいぬべくは秋風吹くと雁に告げこせ

飛んで行けるものなら

告げておくれ

暮れがたき夏のひぐらしながむればそのことなくものぞ悲しき

語注

*こもりをりけり：女の死に遭い、死の穢れに触れて、そのまま喪にこもるさまをいう。

*遊びをりて：死者の慰霊のために管絃の楽を奏でた。

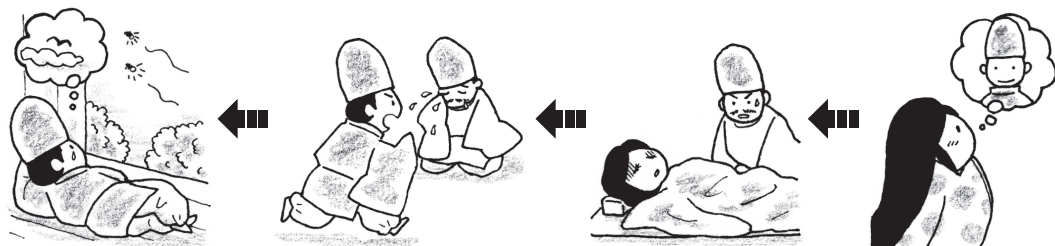
*雁：秋に飛来する渡り鳥。匈奴の国に捕らえられた蘇武が、雁の足に文をくりつけて本国に知らせたという故事がある。

問1 傍線部の解釈として最も適当なものを次から選べ。

- ア 死期が迫っているので急いで言いますが、私はずっと両親には感謝をお伝えしたいと思っていました。
 イ 今までなかなか口に出せなかったのですが、私はいつかあの人と結婚したいとずっと思っていました。
 ウ とても恥ずかしくて今まで打ち明けられませんでした。あなたに愛されて幸せだと思っていました。
 エ 死期が迫っているので本心を打ち明けますが、私は両親の勧める人と結婚したいと思っていました。

問2 「ゆく蛩」の歌に込められた男の思いとして最も適当なものを次から選べ。

- ア 死の直前まで恋する思いを抱き、はかなくも死んだ女への深い同情と哀切な思い。
 イ もはや手遅れになってしまったが、どうか私を恨まず安らかに眠ってほしいという願い。
 ウ 秋風が吹き季節が移っても女を愛し続けていると、蛩から雁に伝えてほしいという思い。
 エ 蛩や雁に代わって、自分も今すぐ死んだ女のもとへ飛んで行きたいという痛切な願い。



2 復習

「伊勢物語」

名前

年 組 番

正答数

12

検印

文法Q

傍線部①～⑤について、本文横の□を埋め、文法の説明を完成させよ。

省略Q

本文横の□に省略された語句を記せ。（本文中の語句で答えること。）

動 詞

行
活用
形

むかし、男ありけり。人のむすめのかしづく、いかでこの男にもの言はむと思

動 詞

行
活用
形

ひけり。うちいでむことかたくやありけむ、もの病^やみになりて、死^②ぬべき時に、「か

主 語

が

主 語

は

動 詞

行
活用
形

動 詞

行
活用
形

目 的 語

に

どひ来たりけれど、死にければ、つれづれとこもりをりけり。時は六月のつごもり、

いと暑きころほひに、宵は遊^よびをりて、夜ふけて、やや涼しき風吹きけり。螢^{ほたる}た

かく飛びあがる。この男、見ふせりて、

動 詞

行
活用
形

ゆく螢雲の上までいぬ^⑤べくは秋風吹くと雁^{かり}に告げこせ

暮れがたき夏のひぐらしながむればそのことなくものぞ悲しき

単語Q

波線部⑦の本文中での意味を答えよ。（活用する語は終止形の訳語でよい。）

☒ その他の覚えておきたい単語

六月…水無月。旧暦の六月。

つごもり…月末。

㊦ ㊧ ㊨ ㊩

㊦ ㊧ ㊨ ㊩